

**平成24年3月期  
第2四半期(中間期)  
決算説明資料<概要>**

**MIZUHO**



**株式会社 みずほフィナンシャルグループ**

# 平成24年3月期第2四半期（中間期）決算の概要

## 収益状況

### ➤ 連結業務純益

- ・連結粗利益は、前年同期比 1,061 億円減少し、9,905 億円となりました。
- ・3行合算の業務粗利益は、前年同期比 886 億円減少いたしました。これは、市場部門等における 836 億円の減少を主因とするものです。顧客部門収益は、アジアを中心に海外では増加したものの、国内を含めた全体では 50 億円減少いたしました。
- ・3行合算の経費は、引続き全般的な削減に努めたこと等により、前年同期比30億円減少いたしました。
- ・証券子会社2社（みずほ証券およびみずほインベスターズ証券）の連結粗利益（純営業収益）は、前年同期比 384 億円減少いたしました。
- ・以上の結果、連結業務純益は前年同期比 1,135 億円減少し、3,514 億円となりました。

### ➤ 連結中間純利益

- ・3行合算の与信関係費用は、取引先企業に対する再生支援等の取組みを通じた債務者区分の改善等の結果、84 億円の戻入となりました。連結与信関係費用も、前年同期比 46 億円改善し 132 億円の戻入となりました。
- ・3行合算の株式関係損益は 672 億円の損失を計上いたしました。これは、株価下落に伴い一部銘柄の償却を実施したこと等によるものです。
- ・以上に、グループ3社の完全子会社化による影響 774 億円等を加え、連結中間純利益は 2,546 億円となりました。これは、上期計画 2,300 億円に対し約 110%、年度計画 4,600 億円に対し約 55%の進捗率となっております。

〔連結〕

(単位:億円)	平成23年度中間期	
		前年同期比
連結粗利益 *1	9,905	1,061
連結業務純益 *2	3,514	1,135
与信関係費用	132	+46
株式関係損益	606	500
経常利益	2,564	1,673
中間純利益	2,546	870

<ご参考> 3行合算

(単位:億円)	平成23年度中間期	
		前年同期比
業務粗利益 *1	7,923	886
経費（除く臨時処理分）*1	4,327	+30
実質業務純益	3,595	855
与信関係費用	84	167
株式関係損益	672	522
経常利益	2,194	1,358
中間純利益 *3	1,524	2,025

\*1 前期まで経費（除く臨時処理分）に計上しておりました証券代行業務および年金管理業務に係る費用の一部につき、今期より業務粗利益に含めて計上しており、前期の計数の組替えを行っております。

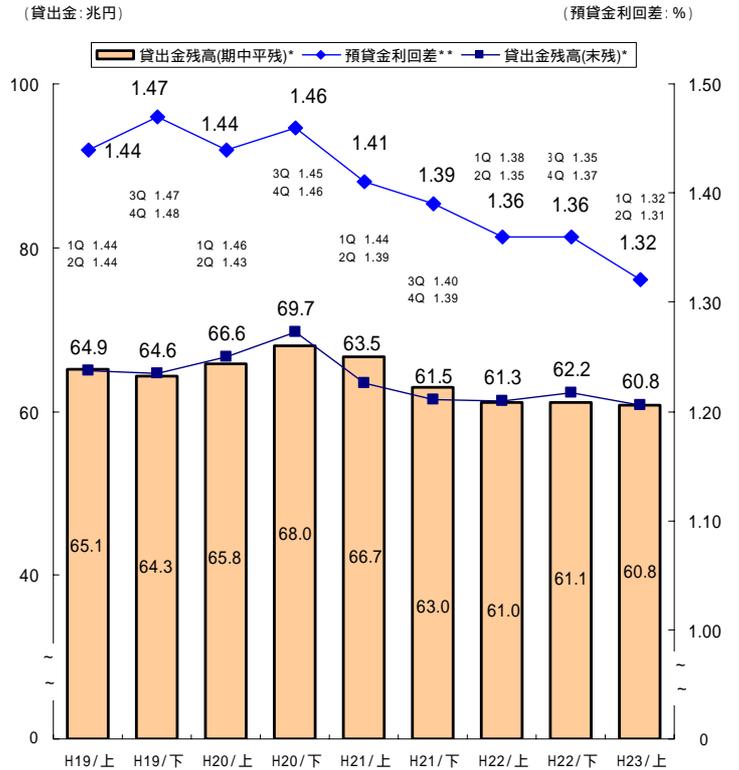
\*2 連結粗利益 経費（除く臨時処理分）+ 持分法による投資損益等連結調整

\*3 完全子会社化による影響 272 億円を含む。同影響控除後の中間純利益は 1,796 億円。

## 金利収支の状況

- 平成 23 年度上期の貸出金平均残高は、前年度下期比 0.3 兆円減少いたしました。これは、海外貸出は増加いたしました。政府等向け貸出を中心に国内貸出が減少したためです。
- 同期末の貸出金残高は前年度末比 1.4 兆円減少しております。政府等向け貸出金の 1 兆円の減少が主たる要因です。
- 同期の国内業務部門合算の預貸金利回差は 1.32%と、前年度下期比 0.04%縮小いたしました。

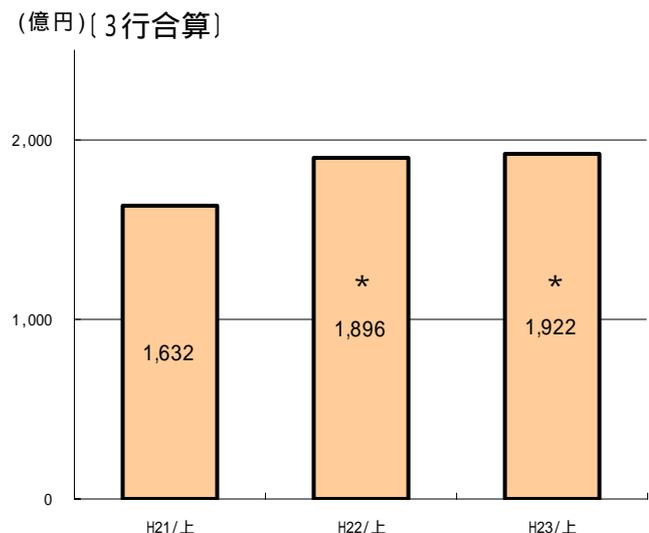
### 貸出金の状況



## 非金利収支の状況

- 平成 23 年度上期の顧客部門の非金利収支 (3 行合算・管理会計ベース)は、前年同期比 27 億円増加しております。
- これは、海外非金利収支がアジアを中心に前年同期比増加したことが主たる要因です。

### 非金利収支の状況(顧客部門)



\* 前期まで経費に計上しておりました証券代行業務および年金管理業務に係る費用の一部につき、今期より非金利収支を含めて計上しており、H22/上期の計数の組替を行っております。影響額は H22/上期が 44 億円、H23/上期が 40 億円です。

## ・財務健全性

- ・連結自己資本比率は、平成 23 年 3 月末比 0.38% 低下し 14.92%となりました。
- ・金融再生法開示債権(3行合算)は、平成 23 年 3 月末比 419 億円減少いたしました。不良債権比率についても 1.70%と引続き低い水準を維持しております。
- ・繰延税金資産純額(連結)は平成 23 年 3 月末比 329 億円減少し、Tier に対する比率は 7.2%となりました。
- ・その他有価証券評価差額(連結)は、株価下落の影響を主因に 1,452 億円となりました。

(単位:億円,%)	平成23年9月末	
		H23/3末比
自己資本比率(連結)	14.92%	0.38%
(自己資本)	(76,152)	( 2,957)
Tier 比率	11.89%	0.04%
(Tier )	(60,698)	( 1,004)
金融再生法開示債権 (3行合算)	11,660	419
不良債権比率	1.70%	0.02%
(ネット不良債権比率 <sup>1)</sup> )	(0.82%)	( 0.00%)
繰延税金資産純額(連結)	4,382	329
対Tier 比率	7.2%	0.4%
その他有価証券評価差額 (連結) <sup>2</sup>	1,452	1,458

1:(金融再生法開示債権-貸倒引当金)÷(総与信額-貸倒引当金)×100  
2:純資産直入処理対象分

## ・規律ある資本政策の推進

- ・当社グループは、「規律ある資本政策」として、「安定的な自己資本の充実」と「着実な株主還元」を推進しておりますが、自己資本をめぐるグローバルな議論や経済・市場動向の不確実性等を考慮し、「安定的な自己資本の充実」に力点を置いた運営を行っております。
- ・自己資本をめぐるグローバルな規制見直しが進められる中、当社グループは、中期的課題として、Tier 比率(現行基準)12%以上、新たな資本規制の導入が予定されている平成 24 年度末における普通株等 Tier 比率<sup>(\*)</sup>(バーゼル 基準)8%台半ば程度を目指しております。
- ・当社グループは、平成 22 年 5 月に発表した「変革」プログラムの着実な実行やワンバンク化を含めたグループ一体運営によるシナジー効果の早期実現等、様々な施策を通じて、収益の蓄積による内部留保の積上げや資産の効率的な運用等を図ることにより、財務基盤の更なる強化に努めてまいります。これにより、G-SIFIs の選定を含む新たな資本規制への対応は十分可能なものと考えております。

(\*) 普通株等Tier 比率:第十一回第十一種優先株式(平成28年7月強制転換)を含みます。

本比率は、現在までに公表された資料をもとに当社が試算したものです。

(参考) 第十一回第十一種優先株式の平成 23 年 9 月末の残高(自己株式を除く)は 3,834 億円となりました。

(当初発行総額 9,437 億円のうち 59.3%が転換済)

## 平成23年度計画

(以下の計数は、連結ベースのものであります。)

- 連結業務純益は、上期実績を踏まえ、当初計画比<sup>(\*)</sup> 300億円の7,700億円の計画としております(前年度比282億円の増加。なお、3行合算の実質業務純益は、当初計画比+300億円の7,170億円。)

グループ3社の完全子会社化を踏まえ銀行・信託・証券連携を更に推進することや、BK・CBのワンバンク化の統合効果を先取りすること等により、収益力の一層の強化を図ってまいります。

(\*) 平成23年5月13日公表値対比

- 与信関係費用は、上期に引続き取引先企業に対するきめ細かな再生支援等に取組みますが、グローバルな経済情勢が不透明になっていること等を踏まえ、650億円を見込んでおります。

- 以上により、当期純利益は、当初計画どおり4,600億円を計画しております。

- 平成24年3月期の普通株式の年間配当金については、「安定的な自己資本の充実」と「着実な株主還元」のバランスを考慮し、従来予想通り、1株当たり6円とさせていただく予定です。優先株式は所定の配当を実施する予定です。

なお当社は、株主の皆様への利益還元をより適時に行うため、中間配当を実施いたします。

### (連結)

(単位:億円)	平成23年度計画	
		前年度比
連結業務純益	7,700	+282
与信関係費用	650	483
株式関係損益	600	+105
経常利益	5,900	+15
当期純利益	4,600	+467

連結粗利益-経費(除く臨時処処分)+持分法による投資損益等連結調整

### <ご参考> 3行合算

(単位:億円)	平成23年度計画	
		前年度比
実質業務純益	7,170	253
与信関係費用	630	790
株式関係損益	650	+112
経常利益	4,550	522
当期純利益	3,250	1,220

### (平成24年3月期配当について)

普通株式	1株当たり年間配当金 うち中間配当金	6円(予想) 3円
第十一回第十一種 優先株式	1株当たり年間配当金 うち中間配当金	20円(予想) 10円
第十三回第十三種 優先株式	1株当たり年間配当金 うち中間配当金	30円(予想) 15円

業績予想の利用にあたっての注意事項等については、「平成24年3月期第2四半期決算短信」の「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

<ご参考>

部門別収益の状況

【3行合算】 (単位:億円)		平成23年度中間期	
			前年同期比
業務粗利益 *		6,015	50
経費 *		3,471	+40
顧客部門		2,543	9
業務粗利益		1,907	836
経費		855	9
市場部門・その他		1,051	845
業務粗利益 *		7,923	886
経費 *		4,327	+30
実質業務純益		3,595	855

\* 前期まで経費に計上しておりました証券代行業務および年金管理業務に係る費用の一部につき、今期より業務粗利益に含めて計上しており、前期の計数の組替えを行っております。

本資料における「3行合算」の計数については、みずほ銀行、みずほコーポレート銀行、みずほ信託銀行の3銀行単体を合算した計数を示しております。